

大学図書館の役割と選書について

1. 大学図書館とは

「大学図書館基準」(1982)が示す主機能(抜粋)

- ・大学図書館は、大学の研究・教育に不可欠な図書館資料を効率的に収集・組織・保管し、利用者の研究・教育・学習等のための利用要求に対し、これを 効果的に提供することを主要な機能とする。
- ・大学図書館は、絶えず変化しつつある利用者の要求をふまえ、常にその蔵書を適切に維持管理し、かつその利用の機会を最大限に確保しなければならない。

2. 本学図書館の選書基準(概要)

○収書方針

- ・各学部・学科・課程の構成とカリキュラムに沿った専門書を収集する
- ・学生並びに教職員のための学習・研究・教育に役立つ資料を収集する
- ・学術的価値の高いコレクションを収集する

○選書基準

(1)一般選書基準

①資料的価値の長いものを選ぶ。

- ・各分野の基本的な図書、参考図書、入門書、概論書、歴史書
- ・時間と場所を超越した評価の定まっている古典
- ・各分野の学習・研究方法に関するもの
- ・各分野の資料集・報告書
- ・各分野の講座・全集・叢書
- ・官公庁出版物
- ・本学関係者の著作

(中略)

⑥個人で購入することが適当と思われる資料等、原則として次のものは収集しない。

但し、本学の教育、研究、指導に必要と判断された資料はその限りではない。

- ・漫画、劇画
- ・実用書
- ・娯楽書
- ・娯楽的写真集
- ・受験参考書、問題集
- ・特定の宗教、政治団体等の広報・宣伝に類する資料